

令和6年度大富士小中学校グランドデザイン

学校教育目標

中学校: 志をもち、心豊かでたくましく生きる生徒
小学校: よりよい自分をつくる大富士の子

小中9年間で身に付けたい資質・能力

①主体性 ②対話力 ③協働性 ④思いやり ⑤粘り強さ

PDCAサイクルを機能させた
小中専門部会による9年間の連携活動

P

生徒指導

一人一人の居場所がある学校 【規範意識を高める】

- 自己指導能力を育む
- ・人間関係づくりプログラム
- ・グループエンカウンター
- 相手を思いやる言葉遣いの涵養
- ・心を育てる道徳教育の推進
- ・自己肯定感を高める人権教育
- 不登校対策の推進
- ・SC、SSW、不登校支援員、外部機関等との連携
- ・教育相談の充実
- ・リモートでの授業参加等の推進
(誰一人取り残さない)

研 修

課題を見つけ全員で学び合う授業

- 魅力的な単元構想と分かる授業
- ・資質・能力を身に付ける単元構想
- ・教科横断的な学習を意識した単元構想
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・適切なタイミングでの振り返りによって学びの調整力の向上
- 主体的に学ぶ授業
- ・主体的、対話的で深い学びの往還
- ・考えを持つことのできる学習課題の設定
- ・身に付けたい資質・能力の具体的な姿の共有
- ・富士山学習PARTⅡ(レッツ大富士、五翔学習)の充実
- ・SDGs実現に向けた教育の充実
- 学びの基盤づくり
- ・家庭学習の充実 ・語彙力向上

D

特別支援

ユニバーサルデザイン(UD)で みんな楽しい! 分かる! できる!

- 特別支援教育の充実
- ・一人一人のよさと可能性が生きる特別支援教育
- ・多様性を受け入れ、互いの良さを認め合う集団づくり
- ・合理的配慮への対応
- ・困り感を持つ子への素早い対応
- ・学習環境の整備(UD)

<学校経営目標>

多様な考えを尊重し、ウェルビーイング(well-being)の実現を目指す

家庭・地域と共に

中: 生徒一人一人が輝く環境づくり ～時を守り、場を清め、礼を正す～

小: こども一人一人を大切にする環境づくり

こどものwell-being

学校のwell-being

特別活動

一人一人が活躍する～みんなのために 【よりよい学校をつくる】

- 児童、生徒主体の特別活動
- ・PDCAサイクルを意識した生徒会活動
- ・児童会、生徒会の常時活動の充実
- ・運動会、各種集会、文化発表会等の企画・運営
- ・あたたかな人間関係づくり・学級づくり ・あいさつ運動

情報

情報化社会を 生きる力を育む

- ICT機器の効果的な活用
- 情報モラル教育の推進

健康体育

自らの健康を考え、生涯にわたって運動に親しむ

- 体力作りの推進
- ・基本的生活習慣の定着(食育、睡眠、傷害の防止)
- ・体力向上(新体力テスト、外遊びの推奨、教師の指導力向上)
- ・感染症対策の充実
- ・家庭と連携したメディアコントロールデー
- 命を守る防災教育

A

具体的な改善策

- ・小中専門部会、各種委員会でPDCAサイクルを短時間で動かし、全職員で共通理解
- ・学校、家庭、地域の連携と協働
- ・学力調査等の結果を基にした授業改善
- ・日常の教育相談の充実

学年主任者会

小中専門部
主任会

教務会

学年部会

分掌部会

評価

- ・単元テスト ・学力調査 ・定期テスト
- ・アンケート調査(いじめ、i-check)
- ・月例報告 ・出欠席状況
- ・保健室来室状況
- ・学校評価

C

評価項目

- 小・中連携・・・小中専門部会・合同研修、授業参観、小中合同学校評議員会
- 関係機関との連携・・・SC、SSW、青少年相談センター、適応支援教室アルファー、フリースクール、こども未来課、児童相談所、生活安全課、放課後デイサービス
- 家庭・地域との連携・・・HP、各種たより、警友会、二十歳を祝う集い、各地域ごとの行事
- 小中児童生徒の交流・・・PTAリサイクル活動、生徒会による新入生対象説明会

- ・学校が楽しい(小中90%)
- ・みんなで学び合う授業は楽しい(小中90%)
- ・進んで取り組める活動がある(小中95%)
- ・進んで挨拶している(小中85%)
- ・思いやりのある言葉を使う(小中85%)
- ・基本的生活習慣を意識する(小中90%)
- ・自分にはよいところがある(小85%)
- ・自分も周りの人も大切である(中90%)